



2024年(令和6年)7月1日

第3学年主任 亀井 翔一

修学旅行

6月11日(火)から13日(木)の2泊3日で、広島県と京都府を訪れました。

1日目は、広島県を訪れて原爆ドームや平和記念資料館を見学しました。現地では、語り部さんが原爆ドーム周辺を案内してくれました。戦時中の話を説明してくれたり、各所にまつわることを説明してくれたりしました。日本が世界で唯一の原子爆弾の被爆国という過去の事実を頭の中の情報だけではなく、現地で本物にふれることで当時の方々が突然奪われた日常や、平和について考える良い機会となっていました。当日は気温も高く、当時の広島も今日と同じくらいの気温だったのかな?ということや、原爆投下直後は比べものにならないくらい熱かったのかな?などと考えながら敷地内を巡りました。

平和記念資料館では、当時の悲惨さが伝わる展示資料の数々は、生徒たち一人ひとりの心にたくさん響いたことでしょう。当時の日本が直面した現実には大きな衝撃を受けていました。

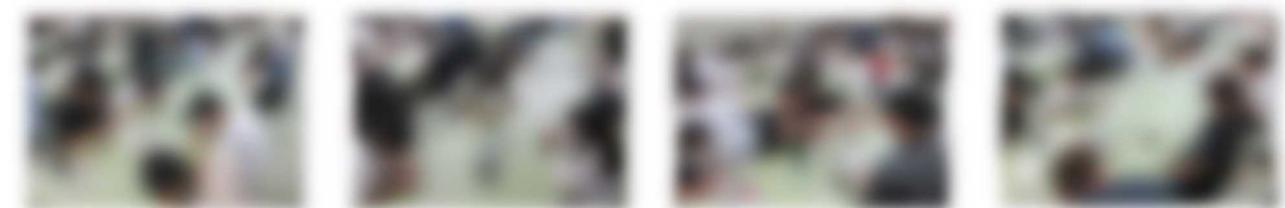
今でも世界に目を向けると戦争によって多くの命が失われています。当時の広島県や長崎県と同じように、そこで暮らす人々の日常が突然奪われています。今の日本で暮らす私たちが「平和」について考え、自らができることに取り組むことが「平和」につながると信じて、前へ進んでいきたいと思えます。



1日目の最後は、世界遺産の厳島神社を訪れました。引き潮で大鳥居まで歩いて行き、直接自身の手で触れることができました。



2日目は、京都府に向かいました。京都府での活動は、班別行動です。お昼頃到着して、半日というスケジュールになるので、事前に班のメンバーと訪れたい場所やまわり方などの意見を出し合って決めた班別行動でした。インバウンドの方たちがコロナ禍以前のように戻ってきたこともあり、予定のバスに乗車できず、次のバスに乗車したため予定時間の調整が生じていたり、計画通りにいかなかったりしたこともありましたが、それでも、みんなで話し合い、協力して取り組むことで、すべての班が無事に帰着チェックをすることができました。また、夜には漆器加飾体験もしました。



3日目は、クラス別行動でした。各クラスで訪れたい場所について意見を出し合い、集約してコースを決めました。すべてのクラスが北野天満宮と金閣寺を訪れるコースを巡り、最終地点は嵐山でした。3日も晴れて、とても暑い一日となりました。

暑い中での活動ではありましたが、嵐山の竹林を散策したり、お土産を買ったり、3日目の疲れを感じさせることなく元気に活動していました。

修学旅行の3日間は、「平和」、「歴史」、「文化」、「SDGs」について学ぶ良い機会となりました。

また、現在は事後のまとめに取りかかっています。一人ひとりが感じたことをまとめて、発表を行います。文化祭でも学年の代表者が発表をする予定でいますので、お時間がありましたら学校に足を運んでいただき、修学旅行で学んだことの集大成を見ていただけたらと思います。

修学旅行の写真

出発の朝



広島電鉄車内にて



広島「原爆資料館」にて



宮島「厳島神社」にて



宮島「杜の宿」にて



京都「伏見稻荷」にて



京都「いしちょう」にて



北野天満宮にて①



北野天満宮にて②



教育相談(三者面談)

7月10日(水)から17日(水)までの5日間、教育相談(三者面談)が行われます。詳細は、各学級の面談予定表をご確認ください。また、上記の期間中は午前中日課となります。部活動などを含めて、状況によっては昼食の準備が必要になる場合がありますので、お子様とご確認をお願いします。